



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

テーマ 「秋の花を楽しもう」

秋の花がテーマなので、まずこの時期を代表する「秋の七草」とヒガンバナについて資料で説明して、河原に向かいました。

堤防の斜面でブタクサが目立たない花をつけていました。上に伸びた花穂にたくさん下向きの小花をつけ、各小花には数個の雄花が入っていて、振ると花粉が飛び散ります。近い仲間のオオブタクサの花も見ましたが、同じような構造をしていました。これらの花粉は花粉症の原因の一つとされています。

河原においてカワラヨモギを見ました。いかにもヨモギの仲間といった地味な蕾をつけていました。河原では他にガガイモやセンニンソウ、ハナゾノツクバネウツギ（アベリア）などの花も観察しました。

河原から園内を通ってもくもくパラダイスに行き、それぞれ近くに生育しているヌスビトハギ、外来のアレチヌスビトハギ、それに近縁のフジカンゾウを見て、花や実の大きさを比較してみました。

その後、大野極楽寺公園まで行って、赤、朱、ピンク、黄色などさまざまな色のヒガンバナを見ました。一昔前まではヒガンバナというと赤い花が普通でしたが、最近は園芸用に改良されたいろいろな色をした品種が出回って植えられるようになってきました。

園内を回って戻って来た辺りに植栽されたオミナエシが黄色の花をつけていました。秋の七草はこのオミナエシのほか、ハギ（ヤマハギ）とクズを見ることができました。

参加した子どもたちは、花よりもウスバキトンボやハグロトンボの群に関心があるようで、捕虫網を振って楽しんでいました。（報告：齋竹）

<その他観察できたもの>

花：オオフタバムグラ、イタドリ、キクイモ、ノブドウ、エビヅル、ヘクソカズラ、アレチハナガサ、アレチマツヨイグサ、カワラサイコ、ツユクサ、

昆虫：ナミテントウ、オオスズメバチ、シオカラトンボ、マユタテアカネ、コノシメトンボ、ギンヤンマ、オニヤンマ、ヒメアカタテハ、モンシロチョウ、モンキチョウ、キタキチョウ、ナミアゲハ、ナガサキアゲハ、ウラナミシジミ、ムラサキシジミ、ウラギンシジミ、ツマグロヒョウモン、イチモンジセセリ、チャドクガ（幼虫）、アブラゼミ、ツクツクボウシ（声）ハマベアワフキ、オンブバッタ、ショウリョウバッタ、アシグロツユムシ、エンマコオロギ（声）

鳥：ヒバリ、セグロセキレイ、モズ、ヒヨドリ、キジバト、ムクドリ、スズメ、ハシブトガラス

日時 2016年9月11日 9:30~12:00（曇り）

参加者 一般：5名（うち子ども2名）

指導員：4名



（観察会のようす）



（ブタクサの花）



（色とりどりのヒガンバナ）